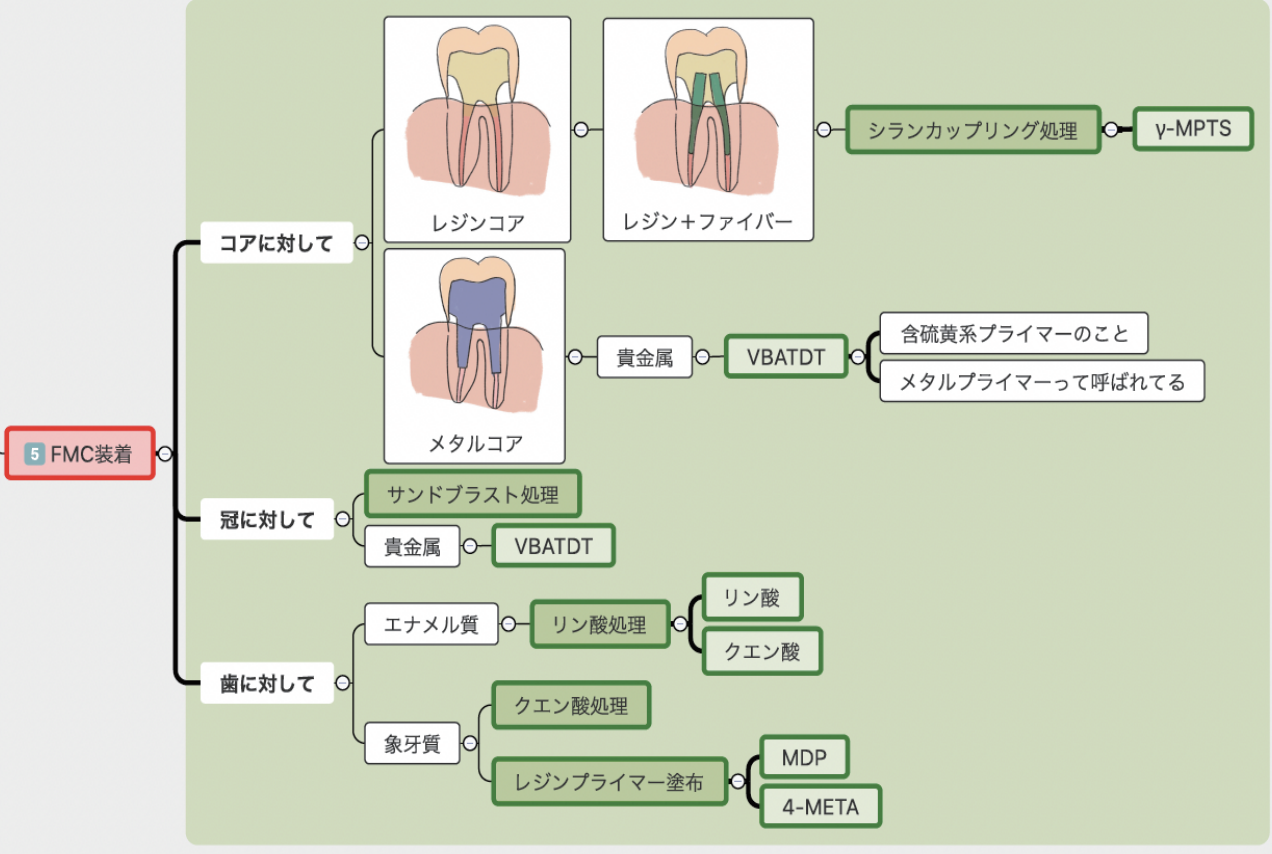
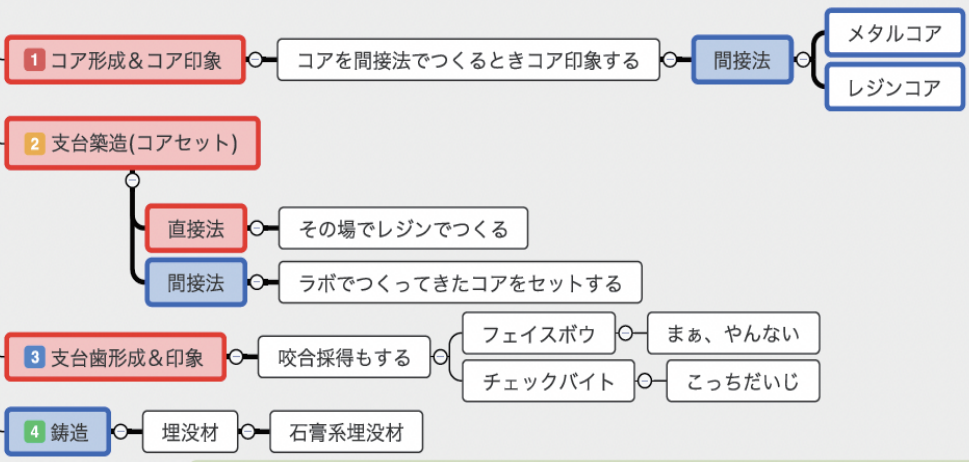


【ここが全て。超基本】FMC(全部鑄造冠)



【FMCと手順は同じ】レジン前装冠

1 コア形成&コア印象

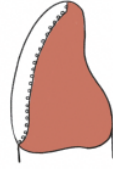
2 支台築造

3 支台歯形成&印象

シェード決める

4 铸造

ワックスアップ



窓開け (赤色はワックス)

リテンションピース付与

埋没

石膏系埋没材

铸造

金属プライマーを铸造体に塗布

貴金属用

VBATDT

レジン築盛

オペーク

デンティン

エナメル

仮重合

咬合調整と形態修正

本重合

研磨

5 レジン前装冠装着

コアに対して

冠に対して

歯に対して

FMCと同じ

前装部が破折したら

レジンのほう

シランカップリング処理

γ -MPTS

金属のほう

貴金属

VBATDT

【国試難問はここ】 陶材焼き付け冠

1 コア形成&コア印象

2 支台築造

3 支台歯形成&印象

4 コーピング鑄造

ワックスアップ



埋没

リン酸塩系埋没材

鑄造

1300°C大気中

55%フッ化水素に浸漬

コーピングについている余計なものを除去するため

5 コーピング試適(1回目)

このとき確認することは

- 支台歯との適合状態
- 対合歯との接触関係

勘違いしやすいところは

陶材焼き付けでは

- 1: 隣接面
- 2: ボンディック基底面
- 3: 前歯の切縁

ここは陶材

6 陶材部分をつくる

(前ろう)

ディギャッシング

1000°C真空中

目的は酸化膜の形成

陶材の築盛

コンデンス

コンデンス=沈殿

振動法とか

築盛後の陶材の粒子間の空隙を減少させる

目的は陶材の収縮改善

適合性

透明感アップ

強度アップ

陶材の焼成

900~1000°C真空中

7 また試適(2回目)

8 ステイニングとグレーズング

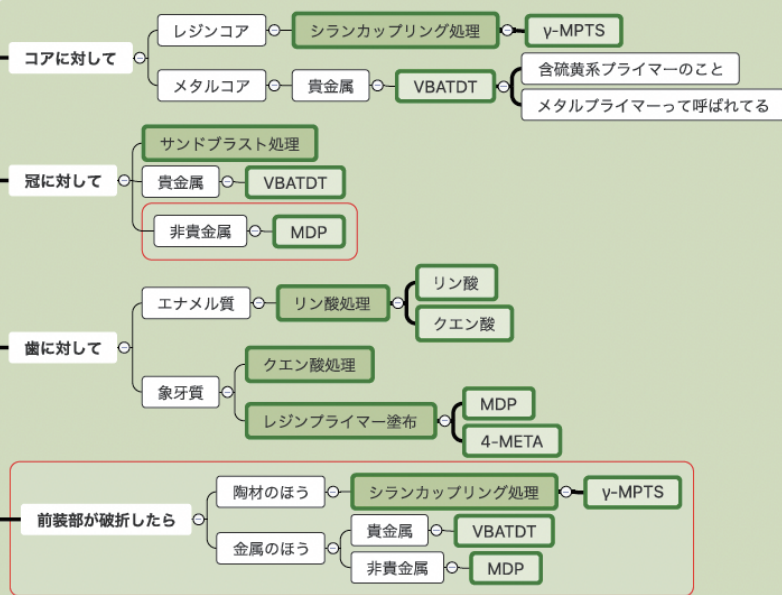
900°C大気中

歯っぽく仕上げるためのもの

9 (後ろう)

5 やっと陶材焼き付け冠装着

5 陶材焼き付け冠



【ダイスペーサー知ってる？】レジンジャケットクラウン(いままでのやり方)

1 コア形成&コア印象

2 支台築造

3 支台歯形成&印象

4 歯型の調整



ダイスペーサー(パーフェクトマスターから引用)

レジン分離材塗布

歯形に塗布する

目的はセメントのスペース確保

マージンには塗らない

ぶっちゃけ、ダイスペーサーはレジンジャケットだけでなく

他の冠にも使われている

5 レジン築盛と光重合

オペークレジン

デンティン

エナメル

6 咬合調整と形態修正

7 本重合

8 研磨

9 レジンジャケット冠装着

コアに対して

レジンコア

シランカップリング処理

γ -MPTS

メタルコア

貴金属

VBATDT

含硫黄系プライマーのこと

メタルプライマーって呼ばれてる

冠に対して

エッチング

リン酸

サンドブラスト処理

シランカップリング処理

γ -MPTS

歯に対して

エナメル質

リン酸処理

リン酸

クエン酸

象牙質

クエン酸処理

レジンプライマー塗布

MDP

4-META

冠がチッピングしたら

シランカップリング処理

γ -MPTS